

実践 森づくり技術講座 第4回

開催日：2018年9月15日（土）

開催場所：鳩ノ巣フィールド（奥多摩町棚沢）

主催者：FIT 森林塾

一文紹介

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ全5回の連続講座の第4回。

第4回は降雨のため、室内講座に変更して行いました。

公開記事

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ全5回の連続講座の第4回。

第4回は降雨のため、室内講座に変更して実施しました。

前日の天気予報に反して、当日の朝は予想外に強い雨が降り続けました。本日の予定は、「材の運搬と道づくり」でしたが、安全確保が難しいと判断し、急きょ室内講座に切り替えて実施することにしました。

会場は、鳩ノ巣フィールドのある棚沢地区のコミュニティーセンターを借りて行いました。

技術講座については、これまで3回実施してきました。今回は、これまでの講座の内容について、疑問質問を講師のみなさんに聞くということから始めました。受講者の皆さんからは、伐倒方法に関する質問・確認が特に多く出されました。

受講生の皆さんは、伐倒時におけるメインロープ・コントロールロープの役割やその使い方、かかり木になった際の安全な対処方法など、これまでの講座で実際に対応した場面を思い出しながら、講師の説明に熱心に耳を傾けていました。

後半は、森林の生態にまつわる様々な話と、今後の技術講座のプログラム紹介などが行われ、お昼で本日のプログラムは終了となりました。

これまで現場でも同様の説明はあったものの、講座での実習を受けた後に、室内で改めてこうした講義を受けることで、受講生の理解度が一層高まったようで、今回の雨天時プログラムは思いのほか有意義なものとなったと、参加者一同とても満足していただきました。

報告者名：実践・森づくり技術講座事務局：松浦 重徳



伐倒方法に関する説明



これまでの講座内容に関する質疑応答風景